

▼インレビックカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 フェドラチニブ塩酸塩水和物 Fedratinib Hydrochloride Hydrate 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [JAK2 阻害剤]

【単位】 ▼100mg/Cap

【常用量】 1回 400mg, 1日1回 [忍容性により 300mg, 200mg への減量]

必要量 (1日 100mg 以上を目安) のVB1 経口剤を併用する

【用法】 1日1回

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 Cr 15~30 : 減量して開始 (1)

【特徴】 JAK2 阻害剤で、骨髄増殖性腫瘍のひとつである骨髄線維症に適用される。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】 開始時にビタミン B1 濃度を測定し、低値なら補充して回復するまで投与を開始しない (1) 結核, HBV などの再活性化に注意 (1)

【F】

【tmax】

【代謝】 主に CYP3A, 一部 2C19 で代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 2.9% [po] (1)

P-gp の基質 (1)

【t1/2】 145hr (1)

【蛋白結合率】 92.6% [主に AAG] (1)

【Vd】 V_{ss}/F=1771L (1)

【MW】 615.62 [塩酸塩水和物]

【透析性】 資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【O/W 係数】

【相互作用】 CYP3A・2C19・2D6, OCT2, MATE1/2-K を阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20260519

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。